

会議要旨

【開催概要】

会 議 名 称	平成30年度 第1回富田林市子ども・子育て会議
開 催 日 時	平成30年11月22日(木) 15:00~17:00
開 催 場 所	富田林市役所 3階 庁議室
出 席 委 員 (名簿順表記)	・井上美智子委員(会長)・開沼委員・中尾委員(副会長) ・松浦委員・北浦委員・井上一世委員・岡本委員・岡野委員 ・吉岡委員・松田委員・北谷委員・北代委員・田中委員 (計13名)
欠 席 委 員	・恒川委員・福田委員・西山委員・杉分委員・藤岡委員
事 務 局	こども未来室:寺元室長(子育て福祉部付部長)、大岡課長、辻野課長、 谷田課長代理、小島課長代理、矢口、佐藤 教育指導室 : 山口主幹
会 議 次 第	1. 開会 2. こども未来室長あいさつ 3. 委員及び事務局自己紹介 4. 案件 ・富田林市子ども・子育て支援事業計画の進捗状況等について ・第2期富田林市子ども・子育て支援事業計画の策定に向けて 5. その他 6. 閉会
公 開 / 非 公 開	公開
傍 聴 者	0人
そ の 他	なし

【議事要旨】

	<p>1. 開会 (事務局)</p> <p>2. あいさつ (こども未来室長)</p> <p>3. 自己紹介 (各委員および事務局) (ニーズ調査および計画策定支援業務受託事業者 ㈱ぎょうせい)</p> <p>・井上会長挨拶 ・会議成立要件の確認 (委員 18 名中、過半数を超える 13 名が出席のため成立)</p> <p>4. 案件</p>
事務局	<p>・富田林市子ども・子育て支援事業計画の進捗状況等について</p> <p>●資料 2「教育・保育ニーズ量の見込みと提供量に対する実績など」、資料 3「地域子ども・子育て支援事業のニーズ量の見込みと提供量に対する実績など」、資料 4「その他子育て支援事業等の利用状況」の説明 (説明省略)</p> <p>●育児ヘルパー事業の拡充、病児保育事業の拡充、幼稚園等保育料(利用者負担)の軽減内容、学童クラブの整備状況および整備予定、家庭的保育・特定保育施設(認可保育所)の整備状況および誘致予定、市立幼稚園・保育所のあり方基本方針(素案)パブリックコメントの状況などについての情報提供 (説明省略)</p>
会長	<p>◇事務局から説明および情報提供のあった内容について、委員の皆さんの質問や意見をうかがう。</p>
委員	<p>◇地域子育て支援拠点事業について、市独自の視点で分析や検証ができるように、今回から利用世帯数や相談件数などの実績を示していただいたことは評価したい。今後、相談内容の中身や質についても報告していただければありがたい。</p> <p>◇育児ヘルパー事業について、利用者の意見を取り入れ、利用回数や期間を拡充したことは評価したい。</p> <p>◇病児保育事業について、良い事業であるにも関わらず、利用者が少ないように思う。本市では、毎年事前登録が必要だが、そもそも病児保育の利用者は、保育園や学童クラブ等に所属しているので、他市では手続きが必要のないところもあると聞いている。利用者が少ない要因として、年に一回であっても事前登録をする手間がわずらわしいこともあると思う。</p>

事務局	●病児保育事業は、一昨年の9月から開始し、今年1月には、受付時間や利用時間を早めるなど、利便性の向上を図ったところであるが、登録方法については、他市の状況を研究しながら今後検討していきたい。
委員	◇市立幼稚園・保育所のあり方基本方針（素案）では、公立幼稚園の統廃合について記載されているが、統廃合された後、送迎バスはあるのか。 ◇公立幼稚園での3年保育は実施してほしいという声がある一方で、廃園予定の園に通っている保護者の不安が強い。どの園に統合されるのか、どの園に通ったら良いのか、親としてどのように選択すれば良いのか分からない状況であり、情報提供をお願いしたい。
事務局	◇パブリックコメントは終了したとのことであるが、計画はいつ完成するのか、いつまでに目途を立てるのか聞きたい。
事務局	●パブリックコメントでは、約600通のご意見があった。他にもさまざまなご意見をいただいております。今後、計画にどのように反映させるのかを検討しているところである。また、期限等についても、年度が替わるまでにご意見もいただいているが、現在、パブリックコメントを整理している段階であり、お答えできる状況になく、今後、方針が定まれば、その都度、必要な情報を提供していきたい。
事務局	・第2期富田林市子ども・子育て支援事業計画の策定に向けて ●資料5「第二期市町村子ども・子育て支援事業計画作成に係るスケジュール（案）」、資料6「新・放課後子ども総合プラン」の説明（説明省略）
(株)ぎょうせい	●第2期計画の概要、国・大阪府の動向、今後の具体的なスケジュールなどについての説明（説明省略）
会長	◇事務局および事業者から説明のあった内容について、委員の皆さんの質問や意見をうかがう。
委員	◇「保育ニーズ」と「保育所ニーズ」はイコールではないので、ニーズ調査では、保護者がどのような働き方をしている、どのような「保育ニーズ」があるのかという点が丁寧に把握できるような設問設定をお願いしたい。 ◇国が示すニーズ調査の項目は、専門用語が多く、保護者にとって非常に分かりにくい。市のニーズ調査では、できるだけ分かりやすい表記にしてほしい。
事務局	●可能な範囲で、工夫していきたい。
委員	◇学童クラブと放課後子ども教室の違い、各小学校での実施状況は。
事務局	●学童クラブは保護者の就労などの保育要件が必要だが、放課後子ども教室は誰でも利用できる。子ども教室は、学校によってバラツキがあると聞いているが、実施状況等の詳細については次の会議で報告する。
委員	◇保護者が働いていない家庭の児童に対しても、放課後の居場所をつくってもらえたらと思う。

会長	◇ニーズ調査の実施時期については、提案どおり来年2月下旬から3月で良いか。
委員	(意見なし)
会長	◇本日の案件については、以上とする。
事務局	<p>●次回の会議は、ニーズ調査の項目や内容について審議していただくため、来年1月下旬から2月上旬の間に開催したい。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>